

解禁 ①ラジオ・テレビ・インターネット：2月10日（月）15：00（知事会見開始後）
②新聞：2月11日（火）朝刊

【取扱注意】今後変動可能性あり

記者発表・資料配布

月 日	担当部局課名	連絡先	担当課長名 (担当班長等名)	その他配布先
2/10 (月)	企業庁総務課	内線5410 078-362- 3676	入江 浩子 (総務課長) 勝 真也 (総務企画班長)	-

令和7年度企業庁 当初予算（案）

令和7年2月10日
企業庁 総務課

令和7年度企業庁当初予算 総括表

令和7年度当初予算

02

	令和7年度 A	令和6年度 B	増減 A-B
歳入	35,949百万円	28,420百万円	7,529百万円
歳出	47,633百万円	42,865百万円	4,768百万円

令和7年度当初予算 歳入の概要

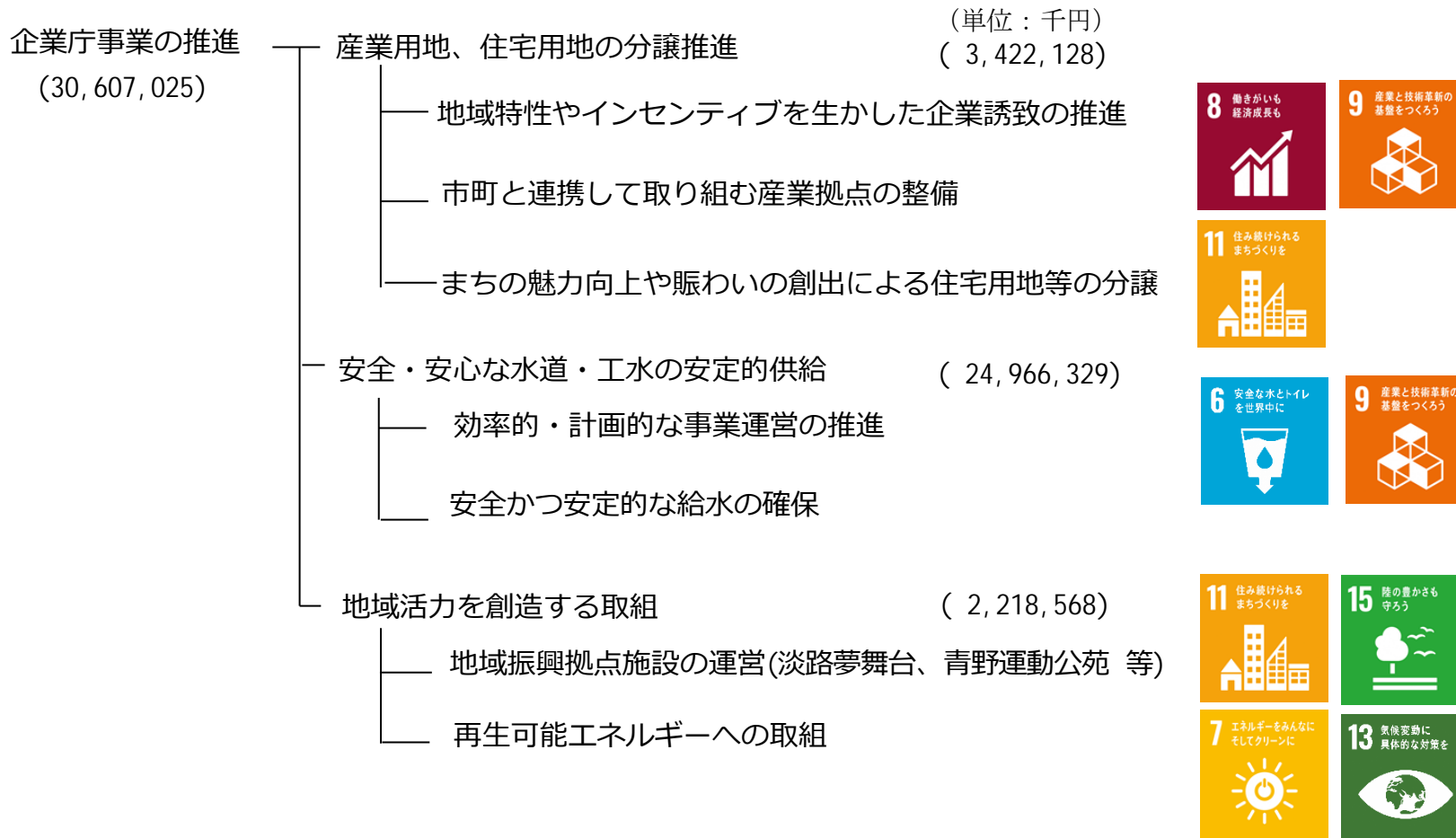
	令和7年度 A	令和6年度 B	増減 A-B	令和7年度主なもの
水道用水供給事業 水事業	16,788百万円	18,907百万円	△2,119百万円	・ 営業収益 (水道用水供給収益) 14,178百万円
工業用水事業 工事事業	5,272百万円	5,136百万円	136百万円	・ 営業収益 (給水収益) 3,745百万円
水源開発事業 水事業	89百万円	58百万円	31百万円	・ 一般会計補助金 89百万円
地域整備事業 地事	11,236百万円	2,757百万円	8,479百万円	・ 営業収益 (土地売却収益) 773百万円
企業資産運用事業 企事業	1,616百万円	1,560百万円	56百万円	・ 営業収益 (太陽光発電売電収益) 1,349百万円
地域創生整備事業 地事	948百万円	2百万円	946百万円	・ 神戸・鈴蘭台西健康福祉 拠点整備事業 (固定資産売却代金) 446百万円
合 計	35,949百万円	28,420百万円	7,529百万円	

令和7年度当初予算 歳出の概要

	令和7年度 A	令和6年度 B	増減 A-B	令和7年度主なもの
水道用水供給 事業会社計	21,985百万円	22,865百万円	△880百万円	・ 建設改良費 (中央監視制御設備更新工事等) 3,547百万円
工業用水 事業会社計	6,003百万円	6,359百万円	△356百万円	・ 建設改良費 (平荘ダムゲート設備更新工事 (加古川)等) 460百万円
水源開発 事業会社計	89百万円	58百万円	31百万円	・ 建設改良費 (梶谷ダム管理費等) 89百万円
地域整備 事業会社計	17,586百万円	9,891百万円	7,695百万円	・ 地域整備費 (潮芦屋マリーナ護岸高上げ工事等) 2,448百万円
企業資産運 業会社計	1,472百万円	1,365百万円	107百万円	・ 営業費用 (太陽光発電施設維持管理等) 703百万円
地域創生整 業会社計	498百万円	2,327百万円	△1,829百万円	・ ひょうご情報公園都市 第2期整備事業整備費 (環境監視調査等) 273百万円
合計	47,633百万円	42,865百万円	4,768百万円	

令和7年度 企業庁重要施策体系表

令和7年度当初予算



兵庫県企業庁SDGs宣言（2020年1月）
 兵庫県企業庁は施策を通じてSDGs（持続可能な開発目標）の達成に貢献するとともに、地域の振興と県民福祉の向上を図ります。

水道・工業用水供給やまちづくり、メガソーラー発電等を推進する企業庁が、率先して、SDGsの達成に貢献することを宣言



地域整備事業のあり方検討及び県政改革方針(案)

令和7年度当初予算

06

地域整備事業のあり方検討

1 これまでの経緯

令和5年9月県政改革審議会からの指摘、県の方針を踏まえ、企業庁経営評価委員会において、地域整備事業の将来的な収支見通しや課題等について評価・検証を行うとともに、今後の事業のあり方について検討

令和6年2月に委員より知事に「地域整備事業のあり方検討についての報告書」手交

2 令和6年度の取り組み

企業庁経営評価委員会で取りまとめられた「地域整備事業のあり方検討についての報告書」を踏まえ、令和6年7月第5回県政改革調査特別委員会で「課題と検討方向」を提出

同年12月第10回県政改革調査特別委員会にて「改革案」を提出し、審議を経て、県政改革方針の変更

県政改革方針(案)

1 会計の抜本的見直し

- 地域整備事業の展開に区切りをつけることとし、企業債償還が完了し、主要な分譲事業が概ね進捗する令和20年度を目途に会計の収束を目指す。
- 上記方針のもと、個別の資産および事業等の収束方針を明確にするるとともに、検討すべき課題・論点の整理に向け、県全体の視点で取り組む。
- 取り組むにあたり、地元関係者等との丁寧な調整も含め、慎重に議論を進める。

2 個別事業の展開方策の検討

(1) 淡路夢舞台 (p15参照)

- 大阪湾ベイエリアの新たな展開を見据え、地域の活性化を牽引する拠点として淡路夢舞台を創造的に再生する。
- ホテル等の企業庁保有資産については、維持管理・運営に民間活力を導入することとし、「資産譲渡」又は「運営権設定」を基本に検討を進める。
- 公の施設群についても、既存の利用形態にとらわれず今後のあり方を検討する。その際、夢舞台としての一体的運用に意を用いる。
- 運営手法の決定にあたっては、淡路夢舞台の地域における公益的意義に留意するとともに、従業員の雇用確保を基本とし、関係者の意見も踏まえつつ丁寧に議論を進める。

(2) 播磨科学公園都市 (p7参照)

- 県、地元市町、有識者等による協議会において、新たな都市のあり方について検討を進める。
- 「まちびらき30周年(令和9年度)」を目途に、持続可能な都市運営に向けた基本的な方向性をとりまとめる。

3 企業債償還財源の確保

目前の資金ショートを回避するとともに、令和11年度以降の企業債償還のピークを見据えつつ、今後の資金不足対策を明らかにする。

(1) 一般会計との貸借関係の整理

一般会計及び地域整備事業会計の資金状況を見極めつつ、着実に整理を進める。

(2) 進捗調整地の活用・処分 (p12参照)

- 財源確保をはじめ公益性の発揮等の視点を踏まえつつ、県全体の視点から活用・処分の方策を検討する。
- 具体的な活用が見込める土地については、事業による公益的な意義や収支見込のほか、地元の意向も踏まえ、産業団地化を進める。
 - 具体的な活用が見込めない土地については、過去の取得経緯等を鑑み、県有環境林として簿価で移管する。
 - 播磨科学公園都市については、「新たな都市のあり方検討」作業に併せて検討する。

(3) 企業庁他会計からの資金融通

地域整備事業会計の資金状況を踏まえ、企業資産運用事業会計等から余剰資金を融通する。

(4) 保有資産の整理

令和20年度の会計の収束も視野に入れ、それぞれの事業の特性に応じ順次資産の整理等を進める。

1. 産業用地、住宅用地の分譲推進

■播磨科学公園都市

- ▶ まちびらきから25年以上経過し、SPring-8の高度化等の新たな展開を迎えるなか、都市の現状や地域整備事業会計の経営状況等も踏まえつつ、持続可能な都市運営に向けて、令和6年度に立ち上げた「播磨科学公園都市の新たなあり方検討協議会」において、都市の新たなあり方を検討

都市の新たなあり方検討協議会

【令和6年度】

○ R7年3月 第2回協議会開催

- ・地域の課題を共有するとともに、令和7年度の検討体制について協議

【令和7年度】

[30.7百万円]

○ 協議会を開催（2回程度）するにあたり、課題への対応、新たな方向性の検討を進めるため以下の取組を推進

- ・地域住民や立地企業等の意見聴取の場としてワークショップ等を開催
- ・テーマに応じた「部会」を立ち上げ、機動的な調査・検討を実施

【今後のスケジュール】

R7年度	R8年度	R9年度
年間2回程度の開催 ・未来志向のまちづくり（新たな方向性を検討） ・持続可能な都市運営（課題への対応、取組を検討）		持続可能な都市運営に向けた基本的な方向性をとりまとめ



【第1回(R6.11)第1回協議会】

○第1回協議会での主な意見

- ①地域の意見を丁寧に聞き、持続可能なまちづくりに向けた丁寧な議論が必要
- ②まちの強みを生かしたプロモーション、アピールの推進
- ③市町や地域による主体的な関わりが重要 等

1. 産業用地、住宅用地の分譲推進

■播磨科学公園都市

- 先端科学技術基盤が集積する都市の特性や民間活力等の積極的活用により企業誘致を推進
- 結婚後10年以内又は子育て世帯などの若年世代向けの購入支援等のインセンティブ制度を活用した住宅用地の分譲を推進

産業用地の分譲推進

[5百万円]

○企業庁独自のインセンティブ制度

割引	県外から本社機能に移転する企業等に土地分譲価格を20%割引
	SPring-8等を活用する研究開発型企业等に土地分譲価格を20%割引（割引併用は10%）
補助	立地検討企業等のボーリング調査費用を助成（最大500万円）
	SPring-8等の機器使用料の1/2を助成（最大1,000万円、立地後10年間）

○民間活力等の積極的活用

産業立地支援のワンストップ窓口である「ひょうご・神戸投資サポートセンター」や「企業誘致サポーター」との連携により分譲を推進

住宅用地の分譲推進

[5.5百万円]

○企業庁独自のインセンティブ制度

- [新]** [職住近接支援]（分譲価格を400万円割引）
契約者又は同居親族が播磨科学公園都市内の事業所に勤務
- [拡]** [若年・子育て世帯新居購入支援]（分譲価格を400万円割引）
結婚後10年以内又は大学等卒業までの子を扶養
- [拡]** [若年・子育て世帯新居購入奨励金]
（150万円（居住開始時100万円、出産時50万円））
結婚後10年以内又は中学校卒業までの子を扶養
- [新]** [ガーデニング等整備助成]（100万円）
植栽、ガーデニング用具庫等の整備費用を助成
- [多世代近住支援]（分譲価格を半額）
親族（3親等内）が2区画を購入又は
1～5期の現居住者の親族（3親等内）が購入
- [太陽光発電システム整備助成]（150万円）
太陽光発電システムの設置工事費用を助成
- [安全で快適な家づくり助成]（100万円）
フラット35Sの技術基準適合住宅（ZEH住宅含む）等

1. 産業用地、住宅用地の分譲推進

■ 播磨科学公園都市

枇杷ノ谷の開発検討

[2.6百万円]

- ・ 播磨科学公園都市第2工区内の枇杷ノ谷は、平成21年台風第9号災害復旧事業及び播磨自動車道の建設残土などを受け入れて造成
- ・ 約5haの用地の利活用について検討

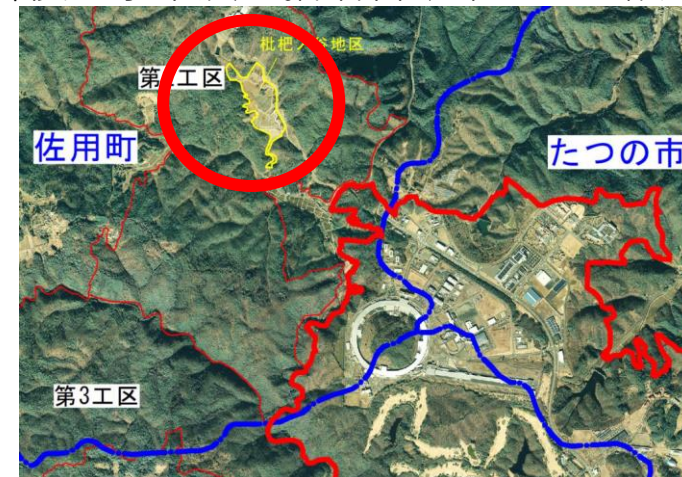
【令和7年度取組予定】

【継】・ 関係機関との調整

光都土木事務所が実施する造成工事の円滑な推進に向けて各種調整を実施

【継】・ 用地測量

用地の利活用に向けて測量（分筆等）を実施



【検討箇所】

魅力あるまちづくり

[0.8百万円]

・ てくてくマーケット

都市のPRや担い手育成、にぎわいづくりを進めるため、地域団体等と連携し、地元農家で採れた新鮮野菜やハンドメイドの定期市や、キッチンカーによる出店、フリマ、子ども向けの企画を実施



【てくてくマーケット】

【参考】

○ 西播磨フロンティア祭2024

都市のにぎわい創出のため、SPring-8施設見学ツアーをはじめ、次世代技術の展示・体験、万博・フィールドパビリオン、地域の情報発信や交流促進企画、「創造的復興」理念の共有・継承の企画を実施（R6年度来場者：約18,000人）

1. 産業用地、住宅用地の分譲推進

令和7年度当初予算

10

■神戸三田国際公園都市

➤ 住環境に応じたインセンティブ制度の活用や、住宅メーカーとの共同分譲などにより住宅用地の分譲を推進

住宅用地の分譲推進 [17.5百万円]

緑豊かな街並み、住環境に応じた各種インセンティブの活用や住宅メーカーとの連携強化、民間住宅情報サイトへの掲載などにより分譲を推進

○企業庁独自のインセンティブ制度 [カルチャータウン・ワシントン村]

[若年世帯新居購入支援] (分譲価格を400万円割引)
結婚後10年以内又は中学校入学前の子を扶養

[太陽光発電システム整備助成] (150万円)
太陽光発電システムの設置工事費用を助成

[ガーデニング等整備助成] (100万円)
植栽、菜園等の整備費用を助成

[安全で快適な家づくり助成] (100万円)
フラット35Sの技術基準適合住宅(ZEH住宅含む)等

魅力あるまちづくり

○フラワータウンセンター地区における公民連携に関する覚書に基づく取組

人と自然の博物館に隣接するセンター地区用地(1ha)について、まちの再生・活性化、若年・子育て層の定住促進等につながるよう、三田市策定のフラワータウン再生ビジョンを推進するため、令和8年まで暫定的に(株)北摂コミュニティ開発センターに貸し付け、「エキマエアキチ」と名付け、社会実験等を実施

[施設の概要]

- ・センター施設「EKIMAE Base」
多世代を対象とした生涯学習の場 (ダンス・英会話等)
- ・スポーツひろば、芝生ひろば
子どもや若者が気軽に利用できるスポーツの場 (バスケット・BMX等)
誰もが日常的に立ち寄り交流ができる場 (マルシェ・フリーマーケット等)
- ・時間貸駐車場
一部をキッチンカー駐車場としても利用



【エキマエアキチ】

1. 産業用地、住宅用地の分譲推進

■潮芦屋

- 六甲山系の山並み、輝く蒼い海、芦屋川の優しい流れ等、恵まれた自然環境を生かした、「戸建て住宅」を中心とした豊かな自然と優れた住居環境のまちとして整備

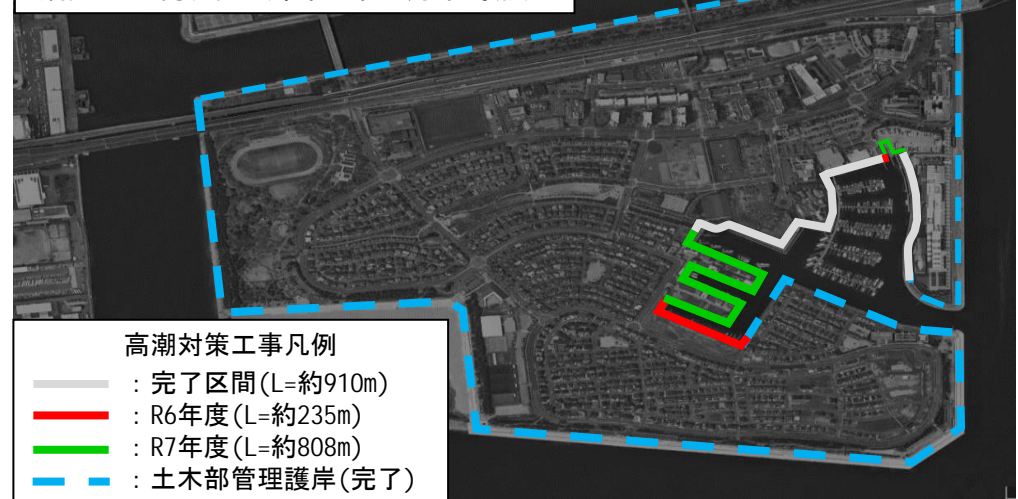
災害に強いまちづくりの推進 [224百万円]

平成30年台風第21号による高潮被害に対する土木部管理護岸の対策に合わせ、企業庁管理の護岸嵩上げ工事等の防災対策を推進

【令和7年度取組予定】

- ・ マリーナ護岸嵩上げ工事

潮芦屋 現況図（令和6年11月末時点）



■淡路津名地区

- あわじ環境未来島構想や民間活力等の積極的活用により企業誘致を推進

産業用地の分譲推進 [10百万円]

○企業庁独自のインセンティブ制度

割引	県外から本社機能を移転する企業等に土地分譲価格を20%割引
	省エネ、地域ブランド発展、生活向上関連企業等に土地分譲価格を20%割引（割引併用は10%）
補助	立地検討企業等のボーリング調査費用を助成（最大500万円）
	津名港岸壁及び埠頭の使用料の1/2を助成（最大1,000万円、立地後10年間）

○民間活力等の積極的活用

産業立地支援のワンストップ窓口である「ひょうご・神戸投資サポートセンター」や「企業誘致サポーター」との連携により分譲を推進

1. 産業用地、住宅用地の分譲推進

■ひょうご情報公園都市

➤ ひょうご情報公園都市の未開発区域内で、三木市と共同で新たな産業団地の創出について検討

産業用地の分譲推進

[138.2百万円]

○ひょうご情報公園都市第2期整備事業（地域創生整備事業会計）

【令和7年度取組予定】

- [新] ・ 公民連携（県・市・民間）による産業団地化の推進
公民連携による民間の参画手法や参画にあたっての条件整理を検討していくため、三木市や民間企業との調整等に係る検討業務を実施
- [新] ・ 環境監視調査
事業実施に先立ち、必要な環境監視調査内容を関係部局、有識者等と調整の上、環境監視計画を作成
上記計画を踏まえ、適切な時期から環境監視調査を開始



【ひょうご情報公園都市第2期 位置図】

○経緯

- ・ 令和3年5月 三木市と基本合意書締結
- ・ 令和3～4年度 基本設計
- ・ 令和5年度 企業等へのサウンディング調査
- ・ 令和6年度 企業の進出意欲や民間開発の可能性を確認する公募型サウンディング調査を実施
調査結果を踏まえ、地元市など関係者の意見も丁寧に聞きながら、方針を検討

2.安全・安心な水道・工水の安定的供給

■水道用水供給事業

- 「アセットマネジメント推進計画」（平成20年度策定、平成29年度改定）に基づき、定期的な施設の点検・診断及び健全性評価等を実施し、修繕工事や長寿命化工事の実施により更新時期の平準化を図るとともに、地震などの自然災害に強い水道施設の整備を目指す

水道施設の強靱化対策

[5,232百万円]

○ 水道施設の老朽化対策

水道施設の老朽化に伴い、機器の故障リスクや管路の漏水リスクが高まっており、適切な老朽化対策により水道施設を健全な状態に維持し、安定的な給水を目指す

【令和7年度取組予定】

- [継]・ 神出浄水場 ろ過池逆洗水槽修繕工事 防水塗装修繕 A=800m²
- [新]・ 多田浄水場 猪名川幹線管路更新工事 老朽管更新 L=600m
- [継]・ 三田浄水場 中央監視制御設備更新工事 老朽設備更新 N=1式

○ 管路施設の耐震化

管路施設の老朽化対策に併せて耐震管への更新を進め、耐震化率の向上を図る

【令和7年度取組予定】

- [新]・ 多田浄水場 猪名川幹線管路更新工事 L=600m（再掲）

○ 緊急時のバックアップ施設の整備

渇水時や地震・事故時の断水リスクに備え、中西条と神出の浄水場間等の連絡管(バックアップ)整備について、他の管路強靱化対策とともに着手時期、実施方法の検討を進める



【三田 中央監視制御設備】



【管路耐震化工事の様子】

2.安全・安心な水道・工水の安定的供給

■工業用水道事業

- 「アセットマネジメント推進計画」に基づき、定期的な施設の点検・診断及び健全性評価等を実施し、修繕工事や長寿命化工事の実施により更新時期の平準化を図るなど、適正な施設の管理運営を推進

工水施設の健全維持

[582百万円]

老朽化の進行により施設の更新・修繕費用が増大し、経営への影響が懸念される。令和11年度以降に本格化する大規模更新工事着手までに、新たな技術・工法の採用や施設のダウンサイジング等も含めてアセットマネジメント推進計画の総合的な見直しを実施し、経営の健全性を維持

【令和7年度の取組予定】

- 【新】・揖保川第2工業用水道 監視制御設備更新工事 老朽設備更新 N=1式
- 【新】・市川工業用水道 市川サイフォン管流量計設置工事 流量計新設 N=3基
- 【新】・加古川工業用水水道 平荘ダムゲート設備更新工事 水門更新 N=1門



【揖保川 監視制御設備】



【市川 ゲート巻上機】



【加古川 平荘ダムゲート】

3. 地域活力を創造する取組

■ 淡路夢舞台

- (株)夢舞台による、ホテル、国際会議場、温室等の施設群の一体的管理運営により、北淡路地域の振興を推進

淡路夢舞台の今後の展開

[29.7百万円]

- ・ 大阪湾ベイエリアの新たな展開を見据え、地域の活性化を牽引する拠点として淡路夢舞台を創造的に再生
- ・ ホテル等の企業庁保有資産の維持管理・運営に民間活力を導入「資産譲渡」又は「運営権設定」を基本に検討を実施

【令和7年度取組予定】

- ・ 今後のあり方及び運営体制の検討等



【淡路夢舞台】

淡路夢舞台等を活用した自動運転の実証運行

[70百万円]

- ・ 大阪・関西万博開催期間中、淡路夢舞台地区において、乗客を乗せた自動運転(レベル4相当)による実証運行を実施

【令和7年度取組予定】

- ・ ひょうごEXPOweek「未来のコミュニティとモビリティ」のシンクロイベントとして、自動運転(レベル4相当)による実証運行を実施
(期間：R7.5.15～5.26)



【走行車両】



Hyogo
Prefecture

<各事業に関する問合せ先>

◆P. 15	総務課	経営戦略班	内線 5 4 9 7	TEL 078-362-4327
◆P. 13~14	水道課	経営計画班	内線 5 4 3 7	TEL 078-362-3684
◆P. 8, 11	企業誘致課	企業誘致班	内線 5 4 5 8	TEL 078-362-4326
P. 8, 10	〃	分譲推進班	内線 5 5 0 8	TEL 078-362-9390
P. 10, 11	〃	分譲企画班	内線 5 4 8 9	TEL 078-362-3872
◆P. 8, 9	地域整備振興課	経営班	内線 5 4 9 6	TEL 078-362-3850
P. 8, 11, 15	〃 公園都市・臨海計画班		内線 5 4 8 3	TEL 078-362-3698
P. 12	〃 新産業団地計画班		内線 5 4 6 7	TEL 078-362-3693